

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



「帰命無量寿如来」って
なあに？

◆幼児のおつとめ

「幼児のおつとめ」は、お正信偈（正信念仏偈）120句の冒頭「帰命無量寿如来南無不可思議光」の2句と念仏、回向で構成されています。この最初の2句には、親鸞聖人のお心が集約されています。

「帰命無量寿如来」は、「帰命」と「無量寿如来」に分けられます。「南無不可思議光」も「南無」と「不可思議光」に分かれます。そして、「帰命」は「南無」であり、「無量寿如来」は「不可思議光」と同じです。

ややこしい？ おっしゃる通りです。そこで2回に分け、今回は「無量寿如来」＝「不可思議光」について、味わいます。

◆呼び名は「はたらき」をあらわしている

私にも戸籍上の名前（本名）がありますが、普段はその名前で呼ばれることがありません。保育園では「園長先生」、お寺では「ご院主さん」、そして家では「お父さん」「あなた」、時々「あんた!」と呼ばれます。

本名で呼ばれるのは、病院か銀行に行った時ぐらいでしょうか。普段の呼び名は、私の立場や役割、つまり「はたらき」を呼んでくださっているのですね。同じ人やものであっても、呼び名は一つではありません。

◆阿弥陀さまの「はたらき」

親鸞聖人は、「阿弥陀さまという仏さまは、どんな時でもどこに居ても、救わずにはおれないと凡夫である私にはたらき続けてくださるのですよ」と讃えていらっしゃいます。「無量寿如来」とは「限りないいのちの仏さま」の意であり、「不可思議光（如来）」とは、「限りない広がりを持った仏さま」という意味です。空間や時間で限定されないはたらき、阿弥陀さまは「いつまでも・どこまでも」私を救い続けてくださる、その「はたらき」を讃えられた呼び名が、「無量寿如来」や「不可思議光（如来）」なのです。